

「ドラえもんだらけ」

(てんとう虫コミックス 『ドラえもん』 5巻 大全集1巻)

理学部 1 回生 勢原拓海

てんとう虫コミックスにのっている話です。ご存知の方も多いとは思いますが、僕はこの話をおすすめします。

まずこの話の冒頭を紹介しようと思います。ただ、もし読んでないならネタバレがあるのでぜひとも先に読んでほしいです。

のび太の罟(?)にはめられて、代わりに宿題をすることになったドラえもん。のび太がぐっすり寝ている間にいろいろあったようで、翌朝ぼろぼろになったドラえもんが宿題をのび太君に渡します。その原因を探るため、のび太はタイムマシンによって昨日の夜へと向かいます。のび太がなりゆきを眺めていると、宿題に困ったドラえもんは2~8時間後の計4人のドラえもんに手伝ってもらうことを思いつきます。

この話は、読むにつれて話がつながっていく、という形の話です。他の有名どころでいうと「ガラパ星から来た男」もこういう形の話ですよね。ページ数に差があるので、確かにガラパ星のほうが読み終わった後の感動はすごかったです。しかしドラえもんだらけは、話はもちろんのこと、絵が楽しいです。だまされたと知ったときのドラえもんの顔、ぼろぼろのドラえもん、ドラえもんを放り出すのび太など。ずっとのび太君が寝ているコマが続くところも面白いです。しかし何といっても、スパナを持ったドラえもんが衝撃的です。漫画という媒体の良さをいかに発揮した作品だと思います。ギャグ要素も豊富で何度読んでも楽しめます。

話は変わって、気になるのがのび太の宿題の内容です。子守用ロボットがあそこまで苦勞する宿題ってすごいですね。のび太が真面目に数日かけても終わらないんじゃないかな…。それを小学生に出すのはひどいですよ。ただ、その宿題をドラえもんたちどのように分担したのでしょうか。2時間後も4時間後もずっと同じ問題をやったほうが効率よくできそうなのですが、読んだ感じだと、どの時間においても2時間後のドラえもんは2時間後のドラえもんがすべき宿題をしているように思われます(何を書いているかわからなかったらすみません)。これこそタイムパラドックスものとして面白いです。寝不足が原因で、同じ問題も解けなくなっていただけかもしれませんが。

と、できるだけネタバレが少なくなるようにと思ったのですが、話の都合上避けられませんでした。ただ、この話は先述したとおり、わかっている面白い話なので、ぜひお読みください。一度読んだことのある方も、ぜひもう一度。

